

平成23年度第3回福岡県がん診療連携協議会議事録

日 時	平成24年2月13日（月） 14時00分～15時20分
場 所	聖マリア病院 第1診療部 2階大ホール
出席者 47名	別紙出席者名簿のとおり
九州がんセンター（院長） 聖マリア病院（院長） 九州がんセンター（藤）	<p>1) 開会の挨拶 ただ今より平成23年度第3回福岡県がん診療連携協議会を開催いたします。今回は会場を聖マリア病院にお願いしました。ありがとうございました。それでは、議事次第にそって進めていきたいと思ひます。</p> <p>2) 開催病院長 挨拶 本日は聖マリア病院にお集まりいただきありがとうございます。がんは死因の第1位の疾患であり年間35万人が亡くなっております。がんは国民の生命と健康にとって重大な問題となっております。本日の会議のなかで福岡県民ががんに対して安心して向き合えるような活発な議論が行われますことを期待しております。どうぞよろしくお祈ひします。</p> <p>3) 各専門部会の現状報告 ①地域連携・情報専門部会 地域連携・情報専門部会の報告をさせていただきます。（別紙資料にて説明）</p> <p>1. 地域連携クリティカルパスの進捗報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域連携クリティカルパスの進捗状況について 先日拠点病院に対してアンケートを行わせていただきました結果の報告です。2012/01/31 現在各がん別の利用状況ですが、胃がん86件、大腸がん57件、肺がん1件、乳がん10件、肝臓がん1件となっております。 ○アンケートの結果（かかりつけ医からの問題点、院内スタッフからの問題点、患者さんから問題点の指摘について） かかりつけ医から、今でも病院間で連携をとっており、今までと何が違うのかということのご意見がありました。一医療機関同士で従来行っていたことを、これからは県全体で標準化を目指しながら行っていますので、その点については、ご理解を求めていければと考えています。 院内スタッフからは、従来と同じ連携を行っているのに、私のカルテなどの作成などを行い、コスト面でもマイナスになっているのではないかとの意見がありました。この点につきましてもコンセンサスがとれればと考えています。 そのほか多くのご意見がありましたが、配布資料に載せておりますので、この場では割愛させていただきます。現段階では、まだ多くのパスが軌道にのっている途中であり、今後さらに多くのパスの運用が軌道に乗ってきた段階で問題点等を集めて、改善を図っていききたいと思ひます。 <p>2. 福岡県がん地域連携研究会（仮称）の立ち上げについて （地域連携・情報専門部会 事前WEB会議にて承認済）</p> <p>【名称】 福岡県がん地域連携研究会（仮称）</p> <p>【目的】 ・現在のパスの普及</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のパスの運用における問題点などの情報交換 ・今後のパス拡大のための勉強会（経口抗がん剤の勉強会なども含む） ・地域連携で必要とされるパスについての議論（緩和ケアパスなど） ・「地域でのチーム医療」「在宅療養支援」など、がんにかかわる勉強会 <p>【対象】 かかりつけ医・がん拠点病院の医師・多職種メディカルスタッフ（現在の連携先リストに登録している施設を中心に案内すれば、すでに認識があるので参加を望めるかもしれません）</p> <p>【主催】 福岡県がん診療連携協議会</p> <p>【共催】 NPO法人 よりよい地域連携を応援する会（代表：信友浩一先生）</p> <p>事前にWEB会議にて、地域連携・情報専門部会のメンバーの皆さんより2施設を除き、承認は頂いておりますが、協議会の参列者の皆様のご承認をいただければと思います。</p>
参加者全員	意見等なし
九州がんセンター（藤）	<p>ご意見等ございませんでしたので、福岡県がん地域連携研究会の立ち上げにつきて進めていきたいと思ひます。</p> <p>3. 福岡県がん診療連携協議会に福岡県歯科医師会を入れることについて ご存じのように、がん医科歯科連携がはじまろうとしてひます。先日、九州ブロックの代表として日本歯科医師会に行ってきました。 次期がん対策推進基本計画にも、「医科歯科医療連携」や「口腔ケア」などの文言が盛り込まれており、避けては通れない状況です。前回の福岡県がん診療連携協議会でもご案内したように、まず九州がんセンターと福岡市歯科医師会でパイロット的に連携を始めますが、県全体への拡大の意識も高めないといけません。他府県の状況では、歯科や口腔外科を開設している医療機関であったとしても全診療科の患者の口腔ケア等に携わることとは不可能であり、地域の歯科医の協力がどうしても必要な状況と伺っております。 福岡県がん診療連携協議会に福岡県歯科医師会を加入させるべきだと思ひますので、事前にWEB会議にて地域連携・情報専門部会のメンバーの皆さんより承認は頂いておりますが、協議会の参列者の皆様のご承認をいただければと思ひます。</p>
参加者全員	意見等なし
九州がんセンター（院長）	お認めいただいたので、次回開催の協議会には福岡県歯科医師会からも参加をしていただきたいと思ひます。
九州がんセンター（藤）	<p>4. 福岡県がん相談従事者向け研修計画について 各施設におかれましては、相談支援センターの相談員が、国立がん研究センターにて研修を受けておられると思ひます。それとは別に、昨年、相談支援センターの相談員指導者研修会が国立がん研究センターで開催されました。福岡県からは、九州大学病院、社会保険田川病院、大牟田市立病院、九州がんセンターが参加しました。これは、相談員の方へ指導を行う方向けの研修、相談員へ教育する要員を育成するための研修で、目的としては、各県ごとで相談員を育成できる人材や環境作りを求められていることだと思われまひます。 今後、福岡県におきましてもカリキュラム等を作成して、がん診療連携拠点病院をはじめ拠点病院以外の病院の相談員についても教育していくようなイメージになると思われまひます。</p>

九州がんセンター（院長）	<p>今後、関係者で話し合いながら進めていきたいと思ひます。カリキュラムや教材の作製など皆様方へ協力を求めていくこともあるかと思ひますので、情報としてご認識いただければと思ひます。</p> <p>研修の時期はいつぐらいから始まる予定ですか。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>3月に相談支援センター連絡会議を開催予定としております。その際に細かい点について話し合いを行いながら決定していきたいと思ひます。</p> <p>以上報告となります。何かご質問はありますか。</p>
九州がんセンター（西山）	<p>②がん登録専門部会 がん登録専門部会の報告をさせていただきます。 (別紙資料にて説明)</p> <p>1. (全国版) がん登録部会報告について 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第1回がん登録部会(平成23年12月19日、於：国立がん研究センター)の報告 この部会で話し合われた主な内容としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国版のがん登録部会を発足させ、中に幹事会をおく ・がんデータ利用を積極的のすすめていく ・施設別のがん登録のデータを公表する方向でいく ・予後調査については法制化を働きかけていく <p>以上のような内容です。 また、国立がん研究センターの嘉山先生が、がん登録事業において大事なことは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるだけ現場に負担がかからないこと ・国民の利益になるようにすること <p>とのことをおっしゃったのが非常に印象的でした。</p> <p>2. がん登録専門部会開催報告について 平成23年度福岡県がん診療連携協議会 第3回がん登録専門部会(平成24年1月23日、於：済生会福岡総合病院)の報告 この部会で話し合われた主な内容としては、審議事項として次の項目にも関係しますが、がん登録専門部会にワーキンググループを作ろうとのご意見がありました。</p> <p>3. がん登録専門部会ワーキンググループの設置について がん登録専門部会の円滑な運営ならびにその活性化を図り、その業務を補助するため、部会にワーキンググループを設置したいと考えております。 協議会の皆様のご承認をいただければ、がん登録専門部会ワーキンググループ規約(案)に基づいて、がん登録専門部会の中からアクティブメンバーを招集し活動を行っていきたくと考えております。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>いずれ、生存率などのデータが公表になるかもしれません、がんのステージ別の予後の公開の際、ステージマイグレーション、ステージ分類の精度が悪いため、ステージが動いたことによりデータが変動してくるので、かなり精度が要求されます。がん登録の精度の向上という文言を追加することは可能でしょうか。</p>
九州がんセンター（西山）	<p>第2条の③で「福岡県内の院内がん登録の精度の向上に関すること」を追加し、以下④部会の運営に関すること⑤その他、・・・としたいと思ひます。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>がん登録専門部会ワーキンググループ規約(案)についてご意見等はございませんか。特にご意見がなければ先ほどの一文を追加した(案)を承認したいと思います。</p>
参加者全員	<p>意見等なし。</p>
九州がんセンター（西山）	<p>以上が報告と審議事項となります。他に何かご質問はありますか。</p>

田川病院（田中）	<p>質問ですが、市町村へのがん登録の照会について、なるべく無料の方向で調整していくとのことでしたが、最終的には調整中との認識でよろしいでしょうか</p>
九州がんセンター（西山）	<p>今後、予後調査事業は、法制化を目指すなど、将来的には中央で担うような方向に向かっていくと思われませんが、まずは、県単位で調整しながら活動を続けていくことで、そういう全国的な流れにつながっていくとの考えを、国立がん研究センターの先生から伺っています。</p>
田川病院（田中）	<p>県をまたぐ場合についても調整中との考えでよろしいでしょうか。</p>
九州がんセンター（西山）	<p>はい。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>中央の方でも働きかけを行っているようですが、法制化となれば国会での承認など高いハードルとなっているようです。しかしながら、訴え続けていかなければ声が届かないと思いますので、協議会としても法制化を訴え続けていきたいと思ひます。</p>
福岡県（中原）	<p>③連絡事項（福岡県） 福岡県の連絡事項を報告させていただきます。 （別紙資料にて説明）</p> <p>1. がん対策推進計画の見直しについて 一般、国の次期がん対策推進基本計画の骨子（案）が示されましたが、本県につきましても、平成20年3月に福岡県がん対策推進計画を策定しており、平成24年度に全面的な改定を行っていきたくと考えております。福岡県がん対策推進計画につきましては、福岡県がん対策推進協議会を中心に見直し作業を進めていきたいと思ひますが、福岡県がん診療連携協議会の先生方へも適宜ご意見等をお伺いしたいと思ひますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。</p> <p>2. 地域がん登録について ○福岡県地域がん登録の進捗状況 昨年の8月から開始しました福岡県地域がん登録につきましては、ご協力いただきありがとうございます。 医療機関を中心に説明会や研修会を何回か開催させていただきました。昨年度分のデータ届出を12月末で締めましたが、合計25,084件の提出がありました。うち拠点病院からの届出が23,000件ありました。一般の医療機関からの届出がまだまだこれからというところではございますが、福岡県医師会にも協力をいただきながら、医師会員の先生等へも引き続き周知を図っていき、なるべく届出を行っていただき、より精度の高い地域がん登録を行っていきたくと思ひます。がん登録につきましては、福岡県の方に福岡県がん検診評価点検事業推進検討会というものを設置しております。その中でいろいろと協議をしております。明日（2/14）に第2回目の福岡県がん検診評価点検事業推進検討会を開催させていただきます。進捗状況等につきましては、その結果の方を皆様方にお知らせしたいと思ひます。</p> <p>3. 福岡県単位型緩和ケア研修会実施要領の改正について ○福岡県単位型緩和ケア研修会実施要領の改正について 福岡県単位型緩和ケア研修会実施要領の改定の審議につきましては、昨年WEB会議でご承認いただき、すでに、各拠点病院には通知をさせていただいておりますが、昨年11月1日～今年8月末日の期間に開催されます緩和ケア研修会におきましては、この実施要領にもとづき開催されることとなっておりますので、ご報告をさせていただきます。また、単位型研修会への改訂作業におきましては、研修・教育専門部会長の水元先生にご尽力いただきありがとうございました。</p> <p>○福岡県単位型緩和ケア研修会の新規実施に係る手続きについて 拠点病院の指定の更新が平成26年の4月となります。今のところ、次期の更新に関する通知はまだ発出されていませんが、特に改定がなければ、次回の更新の際、単位型の研修会を実施していることが指定の要件となります。福岡県においては、新たに拠点病院の申請を出される医療機関等があった場合に、福岡県のがん診療連携協議会の研修・教育専門部会において定めた、福岡県の単位型緩和ケア研修会の実施要領の統一プログラム等の精度を保った研修会を開催することが可能な</p>

福岡県 (中原)	<p>ように定めたものがこの規定となります。</p> <p>以上が報告事項となります。他に何かご質問はありますか。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>がん対策推進基本計画の見直しにおいて、がん対策推進協議会とがん診療連携協議会の関わりのところはどのようになっておりますでしょうか。</p>
福岡県 (中原)	<p>福岡県のがん対策推進計画の策定の見直しにつきましては、がん対策推進協議会の中で見直しを行うこととなります。ただ、拠点病院の代表者として藤先生に入っただけだったり、個別に他の先生にご相談したりしながら実施していくこととなるかと思えます。</p>
九州がんセンター (院長)	<p>国の次期がん対策推進基本計画が定まり次第、法律に基づき各県のがん対策推進基本計画が決定されていくので、推進協議会には各先生方がメンバーとなっておりますので、がん診療連携協議会として拠点病院の意見が全く反映しないことはないと考えますがいかがでしょうか。</p>
福岡県 (中原)	<p>がん診療連携協議会のなかで協議していただくという流れにはなりません、必要なご意見につきましては、適宜先生方にご相談しながら決定していきたいと考えております。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>④研修・教育専門部会 研修・教育専門部会の報告をさせていただきます。 (別紙資料にて説明)</p> <p>1. 平成23年度第3回福岡県がん診療連携協議会 研修・教育専門部会の開催について 今年度第3回の福岡県がん診療連携協議会研修・教育専門部会を3月5日に開催いたします。次回開催の部会におきまして、拠点病院ではない病院のなかに緩和ケア研修会を開催したいと希望される場合、福岡県の統一した研修会のプログラムで同じ規則に則って実施していただくことを説明することになると思えます。</p> <p>2. 平成24年度九州大学病院研修会等開催予定 九州大学病院で教育・研修部会に関連した研修会の開催予定です。 ◆九州大学病院がんセミナー (年5回) ◆福岡県コメディカルがん医療研修会 (年3回) ◆福岡県院内がん登録研修会 (開催日未定) ◆福岡県がん診療連携協議会 MSW研修会 (年2回) ◆第4回 九州大学病院 医師に対する緩和ケア研修会 (年1回) ◆薬事連携セミナー (年6回) ◆市民公開講座「平成24年10月21日 (日)」 ◆膝がん勉強会 (月1回) ◆九州大学病院がんセンタークローバー会 (月2回)</p> <p>3. 医師に対する緩和ケア研修会開催日程 九州大学では、平成24年1月14日(土)、15日(日)で開催いたしました。その際、初日だけお見えになり、2日目は別の会場を希望された先生が2名いらっしゃいました。単位型で参加を希望される先生方が、早速利用されたという状況です。しかしながら残念なことに、情報が少ないため開業医の先生方の参加が非常に少ない状況です。せつかく緩和ケア研修会が単位型に移行しましたので、県医師会の方から開業医の先生へもっと周知を行っていただき、開業医の先生方の参加が増加することを望んでおります。</p> <p>4. 緩和ケア病棟の待機患者数等の情報提供について 現在、県内21施設の緩和ケア病棟から待機患者数等の情報を当院にご提供いただいております。拠点病院の相談支援センター等に情報提供していますが、その状況の内訳となっております。【福岡県内の緩和ケア病棟における待機患者数等の最新情報】による)</p>

田川病院（田中）	<p>以上報告となります。何かご質問はありますか。</p> <p>緩和ケア研修会の定員についてですが、多くの施設では24名定員枠で実施していると思うのですが、2日目だけを希望される方などがおり、参加人員に変動が生じた場合など問題等ありますでしょうか。</p>
九州大学病院（水元）	<p>多少の人員の変動につきましては、施設のご判断にお願いしたいと考えております。我々の病院では48名の枠で実施しております。グループでの研修など最初から組み合わせを設定しておくことが必要な場合もありますので、看護師等にも参加協力していただくなどして、空いた枠に加わっていただいております。各施設でのそれなりの工夫が必要となってくると思われます。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>2日目に参加の意思があるかどうかを事前に確認しておく必要もあるかもしれませんね。</p>
九州大学病院（水元）	<p>現在の規定では、初日のAプログラムを受講しなければ、2日目のBプログラムは受講できませんという文言を申込書に記載しています。当該クール（昨年11月1日～今年8月末日の期間）内に1日目と2日目を受講していただくこととなります。3月に開催を予定している専門部会の中で、研修会の開催時期が8月頃に集中する状況にありますので、各ブロックで月内の開催は3施設までなどというルールを策定し、開催時期が集中しないような工夫も合わせて考えていきたいと思っております。</p>
	<p>4) その他連絡事項</p>
九州大学病院（水元）	<p>① 文部科学省特別経費（プロジェクト事業）の採択について （別紙 資料にて説明） 電子カルテシステムのデータの利活用によるがん臨床指標の確立 ーがん医療の均霑化のためにー（九州大学）」 皆様方へご報告と協力依頼としてご説明させていただきます。 背景としまして、がん対策推進基本計画のなかで、がんによる死亡者の減少・療養生活の質（QOL）の向上が挙げられており、「臨床指標・クオリティインディケーター（QI）」の設定が必要となってきます。そのため当院では文部科学省特別経費のなかで、がん登録データを分析していくにあたり、九大病院の診療科横断的がん診療体制と独自の電子カルテシステムを基盤にがん医療の質を客観的に評価できる手法を確立するための研究をおこなうため予算協議したところ、示達（内示）があり、研究を実施することが決まりました。今後、臨床指標を公開していくにあたり、福岡県内のがん登録データなども活用していくため、がん登録専門部会にも協力をお願いしたりすることがあると思っておりますので、その際はよろしく申し上げます。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>研究については非常に有意義なものだと思います、良い成果を期待しております。ただ、現場への負担がかからないような配慮をお願いします。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>② 次年度からの開催回数の変更（3回⇒2回）について 昨年第2回の協議会の中で、開催回数が2回になることで問題点等があるかを福岡県に確認しており、事務局でも規程等確認しておりました。その結果特に問題がありませんでしたので、次年度から開催回数を2回に変更いたします。 開催の時期については9月と2月で調整したいと思います。協議会のメンバーで至急協議が必要な場合は、臨時開催やWEB会議などを行っていききたいと思います。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>③ 平成24年度第1回福岡県がん診療連携協議会開催予定について 次年度第1回目の開催日及び開催場所は 平成24年9月10日（月）九州大学病院 です。 また、これまで、第1回目の開催病院を県指定の九州大学病院または九州がんセンターで行い、2回目以降を全体で持ち回りして行ってきましたが、今後も2回目の開催施設をローテーションする方向で調整してよろしいでしょうか。</p>
参加者全員	<p>特に意見なし</p>

九州がんセンター（院長）	<p>④がん対策予算案概要と次期がん対策推進計画骨子（案）について （別紙 資料にて説明）</p> <p>次年度の概要及び次期がん対策推進基本計画骨子（案）が示されましたので主な点につきましてお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅緩和ケア地域連携事業の強化 ・抗がん剤の開発研究の強化 ・小児がんに対する対策整備事業の強化 ・医科歯科連携の推進 ・喫煙対策（特に受動喫煙対策）の強化 <p>詳細は配布資料をご確認下さい。ご質問等はありませんか。</p>
福岡大学病院（田村）	<p>今回の骨子（案）の関係メンバーなので補足説明をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術療法の推進 高度な手術が出来る人材の育成を目指していく ・がんと診断されたときからの緩和ケアの推進 初期段階からの緩和ケア、患者のみならず、家族や遺族に対するケアの推進 ・がんに関する相談支援及び情報提供 がんに対する教育を小学校でも行っていくなど、情報提供についても充実を図っていく
九州がんセンター（院長）	<p>ご説明ありがとうございました、その他に、新たな情報がありましたら、皆様方に情報提供していきたいと思えます。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>5) 閉会の挨拶</p> <p>これをもちまして平成23年度第3回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p> <p>以 上</p>